

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分県立二豊学園
------	----------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成29年10月24日・25日

③事業者情報

名 称： 大分県立二豊学園	種 別： 児童自立支援施設
代表者氏名： 学園長 後藤慎司	定員（利用人数） 32名
所在地： 〒879-7502 大分市大字端登5番地	
TEL： 097-596-1144	

④総評

◇評価の高い点

○【支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。】

支援の質の向上に向けた取組については、スタッフ会議や指導課会議、毎年自己評価を実施。特に、今年度からスーパーバイザーを配置し児童相談所スーパーバイザーと役割を確認しながら連携した支援体制を構築している。

○【施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。】

施設長は社会的養護機関の長として、また、公立機関支援機関として、施設長として当面めざしたい施設の方向性イメージを作成し職員と実践している。

○【子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

理念として、子どもの人権を守り、「子どもの最高の利益」を考慮した支援を行うなど4項目を明示している。アンケートから利用する子どもも大切にされているとの回答比率は高い数値であった。

○子どもの人権を護りながら、子どもに「枠のある生活」を設定している事は相反すると思料されるが、子どもの自立を支援するため職員が「児童と共に」の精神に立ち、規則正しい生活が安心・安全感を育み、成功体験の積み重ねが自信となり、また、大人との信頼関係の再構築にも取り組んでいる。

○寮長をスーパーバイザーとして配置し、チーム間で職員が相互評価をしながら、話し合い、職員全体の支援技術の向上に取り組み、結果的に施設全体の支援の質の向上に繋がっている。

◇改善を求められる点

○【実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。】

今後実習希望があった場合を想定し、専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化することを期待する。

○【子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した支援の実施が行われている。】

個別的配慮を必要とする子どもの利用も少なくないことから、環境整備等含めて、今後ともチームでの取組を期待する。

○分校の職員・施設の職員・児童相談所の職員間で子どもの支援の情報が共有化をされ、家族支援も含み一体的に支援をする取り組みが構築される事を期待する。

○発達障害と疑われる子どもが増しており、本来の施設の機能・役割として受け入れる体制には整備されていないが、施設のハード面、職員体制、支援のソフト面等について、関係機関と更なる協議を重ねて、支援する体制が整備されることを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の福祉サービス第三者を受審し、客観的な評価を頂くことにより、今後のサービス向上に向け具体的に取り組んでいくべき課題が明確になったと感じます。

今後もサービス向上に向け、所属をあげて努力していきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）